

12月4日～10日は人権週間です

世界人権宣言70周年

▼問合せ 生涯学習グループ ☎079 (435) 0565

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標や基準を国際的にうたった画期的なものです。

20世紀には、世界を巻き込んだ大戦が二度も起こり、特に第二次世界大戦中においては、特定の人種の迫害、大量虐殺など、人権侵害、人権抑圧が横行しました。このような経験から、人権問題は国際社会全体にかかわる問題であり、人権の保障が世界平和の基礎であるという考え方が主流になってきました。

そこで、昭和23年（1948年）12月10日、国連第3回総会（パリ）において、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、「世界人権宣言」が採択されました。

人権デー

12月10日（世界人権宣言が採択された日）

人権週間

12月4日～10日

世界人権宣言が採択された翌年の昭和24年から毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と定め、全国的に啓発活動を展開し、広く国民に人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

特設人権相談を開設

いじめ、いやがらせなどでお悩みの人は、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。（予約不要）

▼日時 12月3日(月)
午後1時～3時

▼場所 福祉しあわせセンター

▼問合せ 福祉グループ
☎079 (435) 2362

小中学生の人権作文・詩を紹介しします

▼問合せ 生涯学習グループ ☎079 (435) 0565

「ハンセン病」

播磨南中学校 3年 宮田 樹

ハンセン病…?

僕は「人権作文について」のプリントを読んでいて、ふと脳裏にある映像が浮かんできた。宮崎駿監督のアニメ「もののけ姫」に出てくる人達である。

にぎやかに働く女の人達とは違い、夜、暗くなってから、ひっそりとした小屋に主が訪れるのだ。その中には、白い布や包帯で全身を顔まで覆った人達がたくさんいて、座って動いていない人達の中に、体調が悪く横たわっている人がいたりするという場面である。

ぼんやりとしている僕のハンセン病のイメージがこれであった。僕はこれまでハンセン病の人に会ったこともないと思うし、出会っていても意識しなかったのかもしれない。

けれども今、この作文をきっかけに、ハンセン病の本を読み、写真集をみた。

ハンセン病はつばや咳などを介して、らい菌と呼ばれる細菌に感染することで起きる感染症だ。ハンセン病を発症すると皮膚の発疹や手足の麻痺、痛みや熱さを感じにくくなる知覚障害のため症状を悪化させ、後遺症として手足や顔などに変形をも

たらず。しかし、感染力がとても弱いのでほとんど感染することはないし、薬もあるので完治する病気なのだ。

けれど、どうしたら病気になるのか分からず、治療もなかった時代に耳や鼻が落ち、指が変形するという目立った容貌の変化は、恐ろしく、忌み嫌われ、偏見の対象となっていたようだ。

かつてハンセン病は「不治の病」で、患者は偏見や差別から家族を守るために、家を出て放浪し、物乞いなどをして生きていた。

明治期に多くの外国人が患者を放置していることを非難し、外国人宣教師などによって治療が行われるようになった。するとそれを恥と考えた日本政府は1907年に法律を制定し、放浪する患者を取り締まって隔離収容をはじめた。それは1996年「らい予防法」廃止まで90年間も続いたのである。しかも、1947年に治療法が確立しているのにその後も続いていたのだ。

平成30年度

「ニッポンふれあう 町民のつどい」映画会

「ワンダー 君は太陽」

▼問合せ 生涯学習グループ
☎079 (435) 0565



少年オギーがヘルメットを脱いだとき、見えなかった奇跡（ワンダー）が待っていた。

▼日時 12月9日(日)

上映① 午前9時30分～11時30分
(午前9時開場)

上映② 午後2時～4時(午後1時開場)

▼場所 中央公民館 大ホール

※入場無料

▼定員 350人

来場多数の場合は、入場できない場合があります。ご了承ください。駐車場には限りがありますので、徒歩か自転車でお越しください。



少年オギーとの交流の中で変わっていく家族や周りの人々が、皆で優しい奇跡を起こすまでを描く感動の物語

「僕は普通の10歳の子じゃない」

オギーは遺伝子の疾患で、人とは異なる顔で生まれてきた。度重なる手術のために自宅学習を続けてきたオギーだが、両親は息子を外の世界へ送り出そうと決意する。だが、5年生で入学した学校で、オギーはいじめや裏切りに出会ってしまう。それでも、ありったけの勇気と知恵で立ち向かうオギーの姿に、周囲の人々が変わり始める。

そしてさまざまな事件を乗り越えて迎えた修了式に、忘れられない1年を締めくくる最大のハッピーが待ち受けていた。正しさよりも優しさを選ぶ、ただそれだけで自分も世界もハッピーに変えられると教えてくれる、ワンダーな心の物語。

の名前を捨てて偽名を名乗った。療養所の中では、軽度の患者さんが重度の患者さんの世話をする。すべてが自給自足の生活で栄養不足で亡くなる人もいる。暴力を伴う過酷な強制労働や監禁などがある施設もあった。患者さんの結婚の絶対条件が「子孫を残さない」こと。避妊手術もしくは断種手術を受けなければ結婚できないのだ。

年離れた女性がベッドの上で物言わぬ人形を抱いている白黒の写真があった。国の政策により強制的に墮胎させられた過去の女性だという。涙が出てくる。どれだけつらく悲しいことかと思う。いや、それは過去のことではなく今に続いている事実なのだ。

2001年、ハンセン病患者に対する国の責任が問われた裁判で「らい予防法にもとづく国のハンセン病対策は、患者の人権をはなはだしく侵害し、差別や偏見を大きくした」と指摘され、「少なくとも1960年からは、ハンセン病は隔離が必要な病気ではなく、隔離自体が明らかに憲法違反であったとして、患者が「人間らしい生き方」をうばわれたことへの国の責任の所在を明らかにした。

しかし、おそすぎる。たくさん

患者さんが家族との縁が切れたまま子孫を残すこともできずに亡くなっている。2014年にある療養所の患者さんは216名。平均年齢は84歳。高齢のため毎月のように元患者さんは亡くなっている。このまま10年もたてば、誰もいなくなるだろうとこのことだ。みんないなくなれば終わるのか？僕は病気に対しての無知無理解と間違った偏見や差別から、一生を療養所に隔離され、人が人として生きられない人生を生きなければならなかった人達がいると思う。苦しみなながらも生きがいを見つけて暮らす人もいて、僕は救われた気持ちになる。しかし、それで良かったといえるものではない。このような悲劇を二度とくり返してはいけない。

今は情報があふれていて、フェイクニュースがあったり、自分で情報を選択しなければならぬ時代だ。いろんなことに流されたくないで、事実を見極める力をつけていきたい。

映画「もののけ姫」の公開は、らい予防法廃止の翌年である1997年。ポスターに書かれているキャラクター「ピー」は「生きろ」。努力しなければ生きることができなかった元患者さんへのメッセージも含まれているように感じた。

ふれあい人権標語
すてきだね ひとつのいいとこ

みつける目

山口 聖子（播磨西幼稚園 教諭）

「みんなのやっちゃん」
蓮池小学校 3年 藤田歩生

ぼくは、公園に遊びに行くと、その帰りに自てん車のカギを落としてしまったことがあります。その後、一生けんめいさがしてもカギは見つかりませんでした。

夕方になって、お母さんといっしょにもう一度その公園まで歩いてカギをさがしに行きました。でも、カギは見つかりません。

何日かして、お母さんが友だちのお母さんにカギの話をしました。すると、その日の夜、「これかなあ？」といって写真をそのお母さんにおくつてきてくれました。その写真には、電柱に赤色のペンで「落とし物」と書かれた紙がつるされていました。その文字の下には、ぼくのカギもいっしょにぶら下がっていました。

お母さんとぼくはビックリして、つぎの日の朝、紙がつるされている電柱のところにいきましました。カギはぶじにもどつてきました。

だけど、ぼくのカギをひろつてくれた人はだれか分かりませんでした。だから、帰るときにぼくは、その紙に「ありがとございました。」と書いて帰りました。

次の日、ぼくのお母さんが電柱の近くの家に住んでいるおっちゃんに会いました。お母さんは、もしかしてと思つて声をかけました。すると、

そのおっちゃんは、「あの子かなあとは思つとったんやあ。」と笑いながら言つてくれたそうです。そのおっちゃんは、ぼくが学校に行くときも、帰るときも、毎日あいさつしてくれるおっちゃんでした。

ぼくは、近くに見守つてくれている人がいるんだなあと思つてとてもうれしくなりました。友だちのお母さんもよるこんでくれて、またうれしくなりました。

ぼくもいつかおっちゃんのように「あいさつ」や「ありがと」を大切にできる人、そして、人を笑顔にできる人になりたいなと思ひました。おっちゃん、本当にありがと。

「魔法」
播磨中学校 3年 松田美琴

魔法を使えたらいいなあ
誰もが一回は思つたことがある
でも
知らない間に
言葉の魔法を使っている

人を笑顔にする魔法
人を怒らせてしまう魔法
人を悲しませてしまう魔法
人を驚かせる魔法
こうして「喜怒哀楽」の出来上がり

言葉の魔法は自分や人の感情を創る
自分が何げなく言つた言葉で人を傷つける

言葉は目に見えない
だから
世界で一番気をつけないといけ
魔法

「言葉の魔法」



5ねんせいのおにいちゃん おねえちゃんと
きゅうしよくたべた
播磨幼稚園 (5歳児) やまだ れお



ともだちと あそんでいるよ
蓮池幼稚園 (3歳児)
まごめ たいせい

第66回播磨町美術展入賞者

11月1日から4日まで、中央公民館大ホールなどで「第66回播磨町美術展」が開催されました。今年は、各部門合計169点が
出展され、約1千410人が来場されました。(敬称略)

▼問合せ 生涯学習グループ ☎079(435)0565

日本画

- ▽町長賞 青木 美智子(加西市)
- ▽議会議長賞 北村 壽美子(播磨町)
- ▽教育長賞 湯本 秀昭(加古川市)
- ▽美術協会賞 武藤 静子(稲美町)



▲「ミニマト」青木 美智子さん

写真

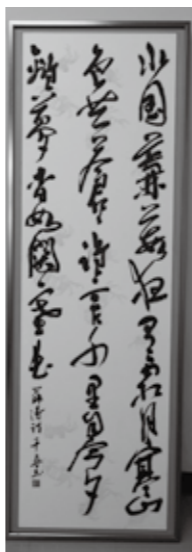
- ▽町長賞 浅井 美也子(加古川市)
- ▽議会議長賞 大津 俊策(神戸市)
- ▽教育長賞 赤松 博文(姫路市)
- ▽美術協会賞 仁木 昭宏(加古川市)
- ▽奨励賞 松澤 道子(三木市)
- ▽奨励賞 雪永 一子(播磨町)
- ▽奨励賞 田口 俊彦(播磨町)



▲「天女の舞」浅井 美也子さん

書道

- ▽町長賞 大西 千尋(播磨町)
- ▽議会議長賞 三枝 恵美子(播磨町)
- ▽教育長賞 大西 麗華(播磨町)
- ▽美術協会賞 田辺 芳斎(たつの市)
- ▽奨励賞 内海 南帆(播磨町)
- ▽奨励賞 松本 茂(播磨町)
- ▽奨励賞 園田 喜英(明石市)



▲「薛濤詩」大西 千尋さん

彫塑・工芸

- ▽町長賞 横田 和則(明石市)
- ▽議会議長賞 遠藤 岩雄(播磨町)
- ▽教育長賞 毛利 勉(神戸市)
- ▽美術協会賞 山田 重信(播磨町)
- ▽奨励賞 松島 明生(播磨町)
- ▽奨励賞 白石 瑞子(明石市)
- ▽奨励賞 脇山 忠博(播磨町)



▲「すきま一彩」横田 和則さん



▲「建物 静かな時」高瀬 忠男さん

第54回播磨町菊花展入賞者 (敬称略)

▶問合せ 生涯学習グループ ☎079(435)0565

- | | | | |
|-------------|---------------------|--------------------|--------|
| 文部科学大臣賞 | 浅原 良平 | 播磨町商工会長賞 | 春名 寿美代 |
| 農林水産大臣賞 | 宇都宮 久登司 | (公財)兵庫県園芸・公園協会理事長賞 | 平郡 誠司 |
| 兵庫県知事賞 | 神吉 恵 | (公財)兵庫県園芸・公園協会理事長賞 | 安田 寛幸 |
| 播磨町長賞 | 宇都宮 久登司 | 兵庫県立フラワーセンター園長賞 | 神吉 勇夫 |
| 播磨町議会議長賞 | 兵庫県立東はりま特別支援学校 永井 誠 | 兵庫県立フラワーセンター園長賞 | 松岡 香 |
| 播磨町教育長賞 | 浅原 良平 | 奨励賞 | 香西 美知子 |
| 兵庫県菊花連合会長賞 | 神吉 勇夫 | 大きく咲いたで賞 | |
| 兵庫県菊花連合会長賞 | 井元 正明 | 播磨町ことぶぎ大学園芸クラブ | |
| 神戸新聞社賞 | 土井 勝代子 | 特別出展 | 加藤 吉和 |
| 播磨町菊花会長賞 | 春名 政吉 | | |
| 兵庫南農業協同組合長賞 | 西口 龍彌 | | |



「まほうの手」

播磨小学校 6年 近藤一輝



ぼうしとり!!
ともだちのぼうしをとったぞ!!
播磨西幼稚園 (4歳児)
いくた りょうすけ

雷がこわくて、ねむれない時
ぎゅっとにぎってくれる手
かぜをひいて、しんどい時
そっとおでこにのる手
勇気が出ない時
ほんと背中を押してくれる手
習い事がいやになった時
肩をさすってくれる手
あったかいまほうの手
ぼくもそんなあったかい手をもつ
人になりたい